



# 令和3年度 業務実績レポート

業務実績の詳細は、令和3年度業務実績等報告書をご覧ください。  
([http://www.famic.go.jp/public\\_information/tsusoku/houkoku](http://www.famic.go.jp/public_information/tsusoku/houkoku))

- 1 肥料及び土壌改良資材関係業務
- 2 農薬関係業務
- 3 飼料及び飼料添加物関係業務
- 4 食品表示の監視に関する業務
- 5 日本農林規格、農林水産物及び食品の輸出促進等に関する業務
- 6 食品の安全性に関するリスク管理に資するための有害物質の分析業務
- 7 その他の業務



## 1 肥料及び土壌改良資材関係業務

業務名		実績
農林水産省からの緊急要請業務		1
登録関係業務	肥料の登録申請に係る調査及び農林水産大臣への結果の報告件数	569
	肥料の原料・生産工程の変更に係る相談への対応件数	1,396
肥料の立入検査等業務	立入検査件数	198
	うち要指導として技術的助言を実施	29
	収去品の分析点数	122
土壌改良資材の立入検査業務	立入検査件数	21
	うち要指導として技術的助言を実施	7
	集取品の分析点数	9
牛海綿状脳症の発生防止関係業務	大臣確認検査件数 (※1)	9
	センター確認検査件数 (※2)	37
肥料の法改正に伴う業務		制度見直しの検討に資するよう以下の調査等を実施 ・原料管理制度の周知 ・関係規程類の改正 ・副産系肥料における原料規格の適合性に係る情報を取りまとめ、農林水産省、地方農政局等と情報共有
肥料の安全性及び品質の確保に関する支援業務	汚泥肥料の登録申請業者に対する「汚泥肥料中の重金属管理手引書」の普及件数	11
	立入検査における「汚泥肥料中の重金属管理手引書」に沿った品質管理の普及件数	125
	仮登録 (※3) 申請に係る調査件数	農林水産大臣からの指示なし
	仮登録申請に係る肥効試験件数	農林水産大臣からの指示なし
	事業者からの公定規格改正の申出に係る対応件数	事業者からの申出なし
	有害物質等に関する科学的技術情報等の情報収集・整理	有機ふっ素化合物等の情報収集、調査体制の構築を推進
	汚泥肥料中の放射性セシウム測定件数	26
	家畜ふんを原料として使用している汚泥肥料等のクロピラリド測定件数	12
	クロピラリドに係る取組の周知件数	14
	肥料の外部精度管理試験を実施する肥料生産業者に対する技術的助言等	農林水産省からの要請に応じ、技術的助言等を実施
調査研究業務		10課題

※1 大臣確認検査：牛の部位を原料とする肉骨粉等について、農林水産大臣からの指示に基づき牛脊柱等が混入しない工程で製造していること等を確認する検査。

※2 センター確認検査：肥料原料用の豚、家きん等に由来する肉骨粉等について、農林水産省が示す製造基準に適合していることを確認する検査。

※3 仮登録：公定規格に定めのない普通肥料の生産又は輸入に際しては、銘柄毎に農林水産大臣の仮登録を受けなければならない。



立入検査における肥料の収去



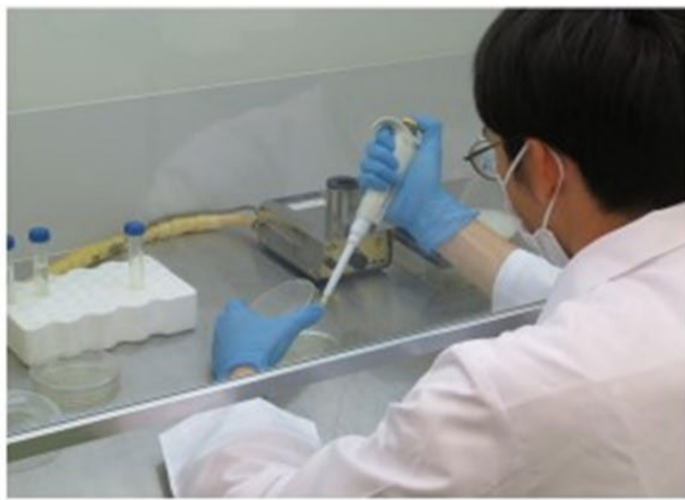
温室内でのコマツナの新芽生育状況調査

## 2 農薬関係業務

業務名		実績	
農林水産省からの緊急要請業務		要請なし	
農薬の登録及び再評価に係る業務	基準値設定必要農薬	農林水産大臣からの審査指示件数 (※4)	427
		農林水産大臣への年度内報告件数	115
	基準値設定不要農薬	農林水産大臣からの審査指示件数 (※4)	1,327
		農林水産大臣への年度内報告件数	928
再評価	農林水産大臣からの審査指示件数	186	
特定試験成績の信頼性の確保に関する業務	農薬GLP (※5) 制度に基づく調査を実施した試験施設数	17	
農薬の立入検査等業務	立入検査件数	48	
	集取品の分析点数	8	
農薬の登録審査に付帯する業務	農薬の安全性その他の品質に関する科学的知見の収集及び解析	技術的知見の提供	
	農薬の登録制度等に係る国際会議への参加等 (農薬行政の国際調和への貢献)	OECDのガイダンス文書の草案を検討	
		OECD GLP作業部会会合及びOECD EGBP (生物農薬専門家会合) に参加	
	農薬使用でへい死した可能性のある蜜蜂に含まれる農薬の定量	10件結果報告	
	蜜蜂への影響評価の更なる充実に向けた検討	技術的知見の提供	
	農薬の使用時安全性評価の更なる充実に向けた検討	技術的知見の提供	
再評価の開始に向けた申請者からの事前相談への対応	技術的知見の提供		
農産物中に係る農薬の使用状況及び残留状況調査業務	残留農薬分析点数		478
		(内訳) 野菜・果実類	388
		(内訳) 米穀・小麦	90
調査研究業務		7課題	

※4 農林水産大臣からの審査指示件数：前年度から審査を継続し、令和3年4月1日時点での審査未了農薬を含む。

※5 GLP (Good Laboratory Practice) : 優良試験所規範



生物農薬の審査 (生物検定)



残留農薬の分析

### 3 飼料及び飼料添加物関係業務

業務名		実績	
農林水産省からの緊急要請業務		要請なし	
飼料等の立入検査等業務	立入検査件数	280	
	収去品の分析点数	289	
	うち要指導として技術的助言を実施	1	
牛海綿状脳症の発生防止関係業務	大臣確認検査件数 (※6)	63	
	センター確認検査件数 (※7)	22	
愛玩動物用飼料(ペットフード)の立入検査業務	立入検査件数	61	
	集取品の分析点数	110	
	うち要指導として技術的助言を実施	0	
安全性確保に関する検査等業務	基準・規格等の妥当性調査件数	3	
	薬剤耐性菌発現モニタリング調査件数	3	
	飼料等のモニタリング検査点数	813	
	(内訳) 飼料中の飼料添加物	19	
	(内訳) 有害物質	493	
	(内訳) 病原微生物	98	
	(内訳) 肉骨粉等	202	
(内訳) 遺伝子組換え体	1		
ISO/IEC 17025認定の維持		ISO/IEC 17025(2017)認定を維持	
検定等関係業務	飼料添加物の検定件数	68	
飼料等の製造工程管理及び品質管理等に関する検査等業務	GMP適合確認検査件数	103	
	(内訳) GMPガイドラインに基づく適合確認 (※8)	97	
	(内訳) 抗菌剤GMPガイドラインに基づく適合確認	6	
	特定飼料等製造業者及び規格設定飼料製造業者の調査件数	0	
	輸出証明検査件数	19	
	エコフィード認証制度及びUCオイル認証制度に係る確認検査件数	7	
	飼料製造管理者認定講習会	eラーニングにより開催	
	GMPガイドラインの研修	GMPガイドラインの研修会	eラーニングにより開催
		メールマガジン	8回配信
	外部精度管理を実施する飼料等製造業者等への技術的助言及び協力		203
登録検定機関の技術的助言		5	
OIEコラボレーティングセンター関係業務		情報の収集・発信 OIEへ活動に関する報告書の提出 飼料安全に係る分析研修(web開催)	
調査研究業務		10課題	

※6 大臣確認検査：チキンミールや魚粉等の製造工程が製造基準に適合しているかの確認検査。

※7 センター確認検査：肉骨粉等を原料とするペットフード等の製造事業場が製造基準に適合しているかの確認検査。

※8 GMPガイドラインに基づく適合確認：飼料等の適正製造規範（GMP）ガイドライン（平成27年6月17日付け農林水産省消費・安全局長通知）に基づき、申請に応じて、製造管理及び品質管理の方法が適切になされているか確認する検査。



エコフィードの原料の選別作業      エコフィードの給餌

#### 4 食品表示の監視に関する業務

業務名		実績	
農林水産省からの緊急命令等業務		1	
食品表示法に基づく立入検査等業務	立入検査	件数	26
		事業所数	77
		延べ回数	136
		科学的検査件数	59
	うち合同一般調査 (※9)	件数	11
		事業所数	53
		延べ回数	67
	行政部局要請検査 (※10)	件数	2
		事業所数	5
		延べ回数	8
科学的検査件数		1	
食品表示の科学的検査業務	科学的検査件数 (総数)		6,153
	うち疑義が認められた件数		127
	うち原産地表示検査件数		2,502
	(内訳) 生鮮食品		1,311
	(内訳) 加工食品		1,191
	うち遺伝子組換え表示検査件数		259
	うち農林水産省と連携した検査件数		352
	(内訳) 生鮮食品		209
	(内訳) 加工食品		143
うち機動的モニタリング検査件数 (※11)		66	
うち行政機関等からの要請による検査件数		204	
食品表示110番等対応業務	不適正表示や違法なJASマーク表示に関する情報を関係部局へ回付した件数		19
	食品表示110番に係る立入検査	件数	指示なし
	食品表示110番に係る科学的検査件数		27
調査研究業務		13課題	

※9 合同一般調査：加工食品に係る新たな原料原産地表示への対応状況等を確認するための農林水産省と合同で行う立入検査。

※10 行政部局要請検査：農林水産省、都道府県等からの要請による任意調査等。

※11 機動的モニタリング検査：分析疑義が判明した時点で速やかに買上げ及び検査を追加実施して疑義の継続性・広域性等の確認を行う検査。



PCR処理



あさり



制限酵素での処理



電気泳動

DNA分析を用いた食品の種判別



### 5 日本農林規格、農林水産物及び食品の輸出促進等に関する業務

業務名			実績
農林水産省からの緊急命令等業務			命令なし
JASの制定等に係る業務	JAS制定に係る原案作成件数	FAMICによる原案作成	2
		事業者団体等による検討のサポート	12
	JASの見直しに係る原案作成件数	FAMICによる原案作成	2
		事業者団体等による見直しのサポート	2
	JASの普及	説明会の開催	2回
		英文翻訳規格数	2
各国の有機認証制度の同等性協議に関する調査	審査及び協議国(地域)数	2	
林産物に用いる接着剤の同等性能確認	確認数	16	
国際規格に係る業務	ISO国内委員会の開催		3
	ISOの規格策定及び改正への貢献のために参加しているプロジェクト数	うち発行済みの規格数	26
			10
	ISO国際会議への派遣回数		26回派遣
Codex国内会議への出席		11回出席	
登録認証機関等及び登録試験業者等に対する調査等の業務	登録認証機関等に対する調査	登録及び更新調査件数	53
		(内訳) 登録調査	2
		(内訳) 更新調査	51
		変更調査件数	148
	登録試験業者等に対する調査	登録及び更新調査件数	1
		変更調査件数	実績なし
JAS法に基づく立入検査等業務	登録認証機関等に対する立入検査	農林水産大臣への報告件数	78
		(内訳) JAS法違反の疑い	1
		(内訳) 認証業務の確認	77
		事業所調査	29
		製品検査施設調査	43
		立会調査	177
	登録外国認証機関等に対する検査	農林水産大臣への報告件数	11
		事業所調査	11
		製品検査施設調査	3
	登録認証機関等の技術能力確認調査	調査件数	431
		(内訳) 現地調査	6
		(内訳) 製品調査	425
	行政部局要請検査	報告件数	要請なし
認定制度に基づく認定業務	認証機関又は試験業者の認定	審査件数	6
		認定業務の啓発	継続的な啓発
	国際相互承認に向けた準備		製品認証分野について、APACへ国際相互承認の申請の手続きを実施
農林水産物及び食品の輸出の促進に関する業務	登録認定機関等に対する調査	登録及び更新調査件数	2
		(内訳) 登録調査	2
		(内訳) 更新調査	実績なし
		変更調査件数	8
輸出促進法に基づく立入検査等業務	登録認定機関等に対する立入検査	農林水産大臣への報告件数	6
		事業所調査	9
		立会調査	3
	行政部局要請検査	報告件数	要請なし

#### JASマークの種類



JASマーク

有機JASマーク

特色JASマーク

試験方法JASマーク

## 6 食品の安全性に関するリスク管理に資するための有害物質の分析業務

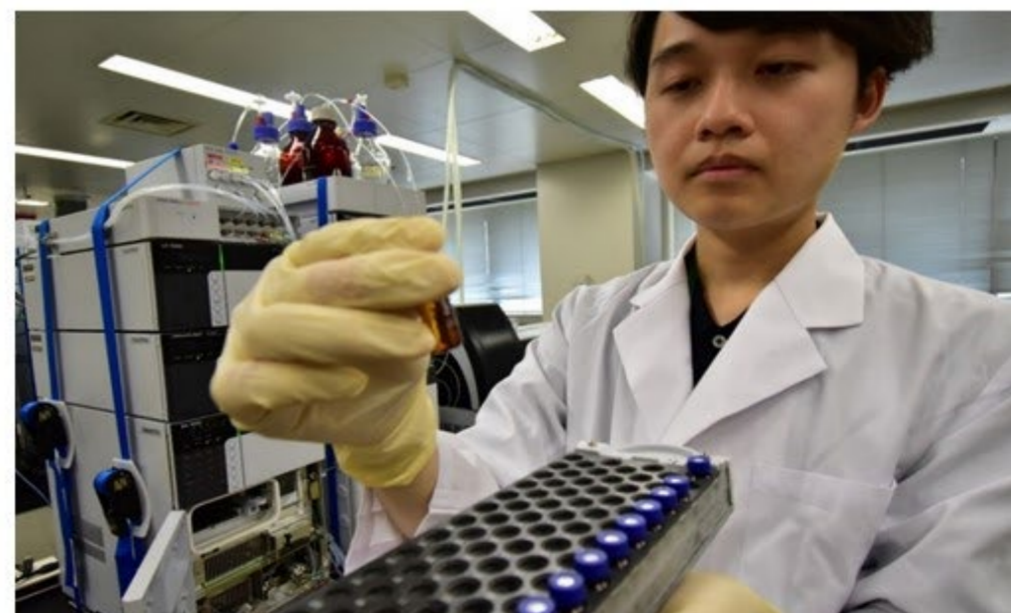
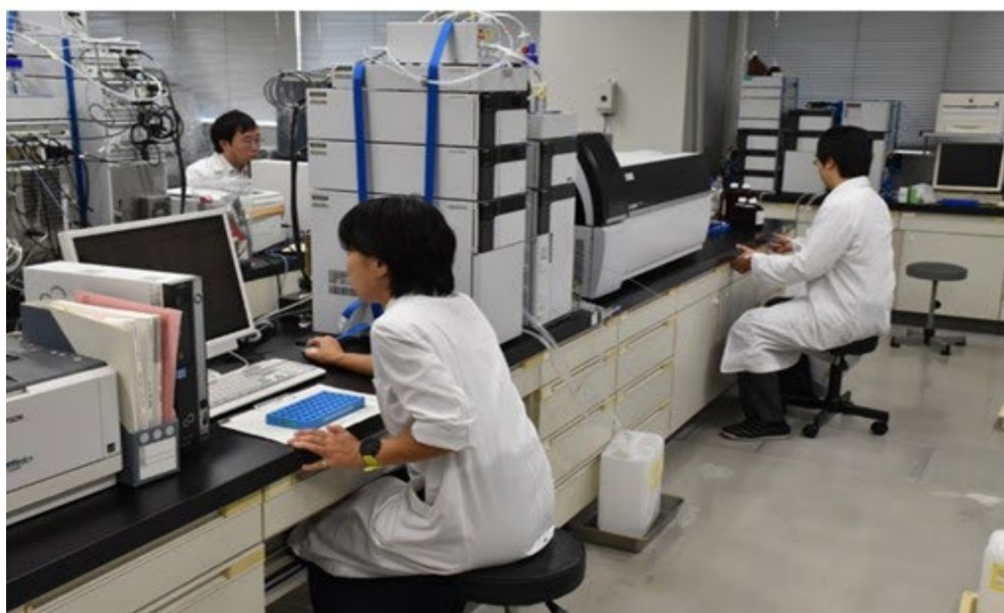
業務名		実績
農林水産省からの緊急命令等業務		命令なし
サーベイランス・ モニタリング年次計画 に従った分析業務	依頼分析件数	968
	(内訳) 小麦、大麦等のかび毒	968
食品安全に係る有害 化学物質の分析能力 の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作成した標準作業手順書 (SOP)</li> <li>・LC-MS/MSによるかび毒の一斉分析標準作業書 (小麦、大麦、ライ麦、ハトムギ及びソバ)</li> <li>・LC-MS/MSによるフキ及びフキノトウ中のピロリジジンアルカロイド類分析標準作業書 (高濃度分析法)</li> <li>・LC-MS/MSによる麦角アルカロイドの分析標準作業書 (小麦、大麦、ライ麦、ハトムギおよびソバ)</li> <li>○SOP作成の取組を農林水産省に報告した危害要因</li> <li>・LC-MS/MSによる麦類 (小麦、大麦) のニバレノール-3-グルコシド</li> <li>・LC-MS/MSによるハトムギ玄穀、玄ソバのタイプBトリコテセン類、タイプAトリコテセン類、ゼアラレノン、アフラトキシン類、オクラトキシン類</li> <li>・LC-MS/MSによるキク科、ムラサキ科植物のピロリジジンアルカロイド類分析標準作業書</li> <li>・GC-MS/MSによるクロロプロパノール類及びその関連物質</li> </ul>	7
サーベイランス・ モニタリング確認分析 業務	分析実施点数	20
	(内訳) タイプAトリコテセン類、 タイプBトリコテセン類、ゼアラレノン、 アフラトキシン類分析点数	10
	(内訳) トロパンアルカロイド類分析点数	10
ISO/IEC 17025認定の維持(更新審査)		ISO/IEC 17025(2017) 認定を維持



麦類の赤かび病



玄そば



高速液体クロマトグラフタンデム質量分析装置による測定



7 その他の業務

業務名			実績	
カルタヘナ法 (※12) 関係業務			指示なし	
情報提供業務				
ホームページ等による情報提供	ホームページ	顧客満足度 (※13)	3.8	
		更新回数	212	
		アクセス回数	478,161	
	メールマガジン	顧客満足度 (※13)	4.1	
		配信回数	49	
		令和4年3月末登録者数	6,425	
		延べ配信数	312,634	
	広報誌	顧客満足度 (※13)	4.2	
		発行回数 (毎回5,000部)	4	
事業者等からの講師派遣依頼等	顧客満足度 (※13)		4.5	
	講師派遣	派遣回数	49	
		延べ参加者数	5,755	
	委員派遣	派遣回数	43	
	データベース化されたテキスト等の件数		71	
	企業等からの相談件数		5,176	
	(内訳) 肥料		3,660	
	(内訳) 農薬		89	
	(内訳) 飼料及び飼料添加物		334	
	(内訳) 愛玩動物用飼料		57	
(内訳) 土壌改良資材		94		
(内訳) 食品		942		
講習会の開催	顧客満足度 (※13)		4.2	
	事業者	技術講習会	7回開催	
	都道府県職員等	肥料分析実務者研修	1回開催	
		消費生活センター職員等ブロック研修	7回開催	
		飼料等安全性検査技術研修	2回開催	
検査・分析に係る信頼性の確保及び業務遂行能力の継続的向上	分析業務の精度管理		外部技能試験参加回数	10
	技術研修の実施件数			35
	(内訳) 新規採用者研修等			2
	(内訳) 外国語力強化研修			1
	(内訳) 業務研修			32
関係機関との連携				
国民生活センターとの連携	依頼による分析件数		0	
	招へい回数		2	
国際技術協力要請	専門家の派遣回数		要請なし	
	海外研修員の受入回数		2	

※12 カルタヘナ法：遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律。

※13 顧客満足度：5段階評価の平均値。



ホームページと広報誌



講習会



相談窓口

